

● 平成19年度 業績計画

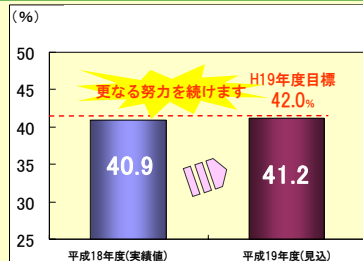
平成19年度の取組み

平成18年度 実績値 **40.9%** ▶ 平成19年度 目標値 **42.0%**

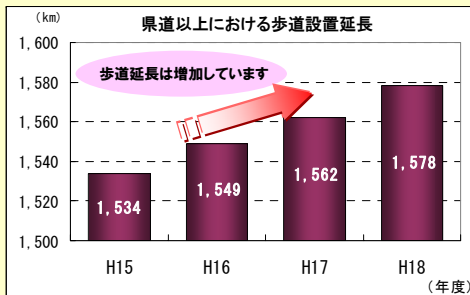
●市街地や通学路等において整備の必要性が高い区間を中心に、効果的な歩道整備を進めています。

●用地取得等で皆様のご理解を得ながら進めており、右のグラフに示すとおり歩道延長は年々増加していますが、平成19年度目標である42%の達成は厳しい見込です。

●今後、用地取得等を積極的に進め、歩道設置率向上へ更なる努力を続けます。



県道以上における歩道設置延長



目標値の設定

平成19年度 業績計画【総括】

TOPICS バリアフリー新法とは

- 平成18年12月に総合的・一体的なバリアフリー化を推進するため、交通バリアフリー法^{*1}とハートビル法^{*2}の法律を統合・拡充したバリアフリー新法^{*3}が施行されました。
- バリアフリー新法^{*3}では、高齢者、障害者等の利用する施設を含む地区について、市町村が住民等の意見を伺いながらバリアフリーの基本構想を作成し、道路管理者や交通管理者等の関係機関がその基本構想に基づいてバリアフリー化を進めていくものです。
- これまでは旅客施設及び一定の建築物が対象となっていました。バリアフリー新法^{*3}の施行により、道路、公園、駐車場などを新設する場合には、バリアフリー化が義務付けられました。また、旅客施設から徒歩圏外や旅客施設を含まない範囲についても基本構想を作成することができ、積極的にバリアフリー化の計画ができるようになりました。
- 国土交通省、山口県では、バリアフリー新法^{*3}に基づいた施設のバリアフリー化を積極的に推進していきます。

交通バリアフリー法^{*1}による取組み

旅客施設等のバリアフリー化

- ・幅の広い改札口
- ・エレベーターの設置
- ・職員の教育訓練の充実 など

公共施設等のバリアフリー化

- ・幅の広い歩道
- ・歩道の段差、勾配の改善
- ・案内サイン等の設置 など

ハートビル法^{*2}による取組み

建築物等のバリアフリー化

- ・自動式引き戸
- ・段差のない出入り口
- ・多目的トイレの設置 など

バリアフリー新法^{*3}

*1「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」

*2「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」

*3「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」

平成12年11月15日施行、平成18年12月20日廃止

平成15年4月1日施行、平成18年12月20日廃止

平成18年12月20日施行

● CO₂の削減

アウトカム指標：⑥CO₂排出量（自動車交通）

環境に配慮した道路整備を示す指標



山口県民の皆様一人あたり排出量

1.9t-CO₂/年

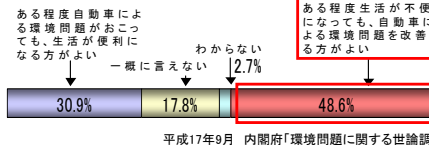
利用者の意識

自動車環境に関する意識

▶環境問題の改善が求められています

●一般国民の意識から、生活の利便性より環境問題を重視する割合が大きくなっています。 総数(1,896人)

自動車環境に関する意識調査

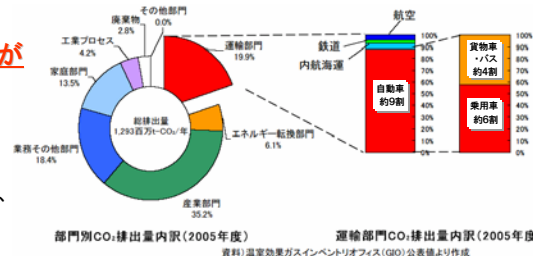


現状と課題

CO₂の排出状況

▶乗用車からのCO₂排出量が多くなっています

●日本のCO₂総排出量の9割はエネルギー消費によるもので、運輸部門のCO₂排出量はそのうちの20%を占め、その約9割が自動車交通から排出されるCO₂であり、その半分以上が乗用車から排出されています。



● 平成18年度 達成度報告

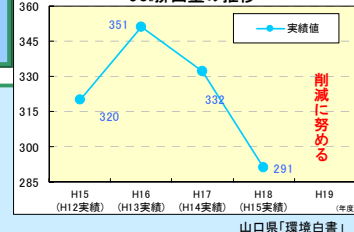
平成18年度の目標達成状況

平成18年度目標値 **削減に努める** ▶ 平成18年度 実績値 **291万t-CO₂/年** **目標達成**

●CO₂排出量は332万t-CO₂/年(平成14年度実績値)から291万t-CO₂/年(平成15年度実績値最新公表データ)となり、41万t-CO₂/年低減しました。

※平成19年山口県より公表された最新の実績値(平成15年実績値)であり、自動車の燃料消費より算出した山口県全体のCO₂排出量です。

CO₂排出量の推移



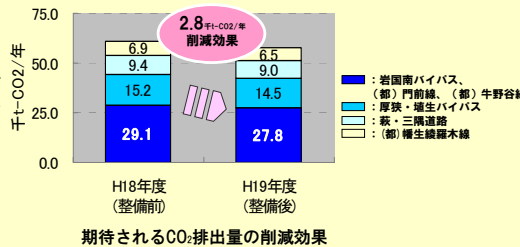
平成18年度 達成度【総括】

平成19年度 業績計画【総括】

● 平成19年度 業績計画

平成19年度の取組み

- H19年度供用予定の各路線の整備により、以下のとおりCO₂排出量の削減が期待されます。
- ・岩国南バイパス、(都)門前線、(都)牛野谷線 ⇒約1.3千t-CO₂/年
- ・厚狭・殖生バイパス ⇒約0.7千t-CO₂/年
- ・萩・三隅道路 ⇒約0.4千t-CO₂/年
- ・(都)幡生綾羅木線 ⇒約0.4千t-CO₂/年



※路線整備による速度変化をもとに算出した供用予定各路線のCO₂排出量です。

人と自然を大切にすするみちづくり ⑥CO₂排出量

人と自然を大切にすするみちづくり ⑤歩道設置率